

参加費
無料

OMUイノベーション共創フォーラム

ま ち レジリエントな都市

大阪公立大学は、「地域中核・特色ある研究大学強化事業(J-PEAKS)」に採択され、本事業においてMulCo: Multilevel Co-Creation (多様な共創活動)プロジェクトを推進する「都市シンクタンク」として未来社会創成を図ろうとしている。

このシンクタンクでは、パンデミック、大規模災害など都市活動を一変させる事態や生活者/コミュニティの課題に関連した共創プロジェクトを立ち上げており、今回のフォーラムを通じて大学の知の地域還元、文理融合、研究内容・成果の発信を意識し、“レジリエントなまち”をテーマに議論を展開する。



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



2025.6.20 金

ナレッジキャピタルカンファレンスルーム
B05/06(タワーB 10F)

<https://www.kc-space.jp/accessmap/conference>
グランフロント大阪北館 大阪市北区大深町3-1

講演: 13:30-14:55 パネルディスカッション: 15:30-17:10

形式: 会場(100名)／配信(zoom) 参加対象者: 行政／企業／研究者／学生

主 催: 大阪公立大学 URAセンター、スタートアップ創出・支援センター(SUCSUC)

後援(予定): 大阪府、大阪市、公益社団法人関西経済連合会、関西イノベーションイニシアティブ(KSII)

協 力: 公益財団法人大阪産業局、関西スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)



参加登録: https://www.omu.ac.jp/ura/contact/form-entry_co-creation2.html

参加申込期限: 2025年6月18日[水](正午)

申し込み多数の場合は早めに会場参加を締め切る可能性があります

プログラム

13:30-13:35

開会の言葉

櫻木弘之（大阪公立大学 学長）

講演

13:35-14:15

「レジリエントな都市・大阪を 目指して」

嘉名光市（大阪公立大学 大学院工学研究科）

14:15-14:55

「データが駆動するデジタル ツインシミュレーション、 そして社会実装を目指して」

安部孝太郎（株式会社NTTドコモ 経営企画部）

14:55-15:30

Tea Breakとネットワーキング

議論

15:30-17:05

パネルディスカッション

パネリスト

安部孝太郎（株式会社NTTドコモ）

嘉名 光市（大阪公立大学 大学院工学研究科）

山崎 伸二（大阪公立大学 大阪国際感染症研究センター）

重松 孝昌（大阪公立大学 理事・副学長）

モデレーター

小関 珠音（大阪公立大学 大学院都市経営研究科）

17:05-17:10

閉会の言葉

重松孝昌（大阪公立大学 理事・副学長）

※プログラムは都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

嘉名光市

大阪公立大学 大学院
工学研究科 教授



京阪神を中心とした都市デザインプロジェクトに実践的に参画。御堂筋空間再編、なんば広場、三宮都心再整備など。大阪市、神戸市および京都市の都市計画、美観審議会委員等多数就任。

安部孝太郎

株式会社NTTドコモ
経営企画部 担当部長



社会変革担当部長として兼務するクロステック開発部を先導。先端技術を活用して社会課題を解決する取り組みを進めている。

山崎伸二

大阪公立大学 大学院
獣医学研究科 教授
大阪国際感染症研究センター
副センター長



人獣共通感染症菌の遺伝子レベルでの検出法や薬剤耐性菌に関する研究を行っている。併せて、関西国際空港の下水サーベイランスによる水際対策にも取り組む。

重松孝昌

大阪公立大学 理事・副学長
産学官民共創、都市シンクタンク、
万博担当



安全で包摂的な成熟未来都市の実現に向け、多様な専門知の融合と新たな専門知の創出による大学都市シンクタンクの構築を通じて社会貢献に尽力している。

小関珠音

大阪公立大学 大学院
都市経営研究科 教授



金融機関勤務後、イノベーション、ビジネスモデルに係わる大学での教育・研究に従事。パドバ大学（創立1222年）との共同研究成果の著作では地方都市でのレジリエンス能力の育成を執筆した。